



学校だより

令和8年9月18日

夢中がいっぱい左近山の子

Sakonama 横浜市立左近山小学校

10月号

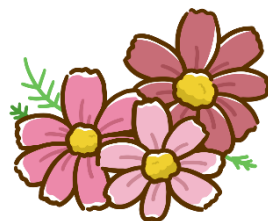
～つながる学び(知)・つながる仲間(徳/体)・つながる地域・未来(公/開)～

子どもたちの安全を最優先に

こうしょう
校長

あらい まさふみ
荒井 正史

こんげつ うた せかい ひと はな おんがく じゅぎょう あさ かい こ
今月の歌は、「世界に一つだけの花」です。音楽の授業や朝の会などで、子どもたち
げんき うたごえ き あさ せいもん にしもん こうしゃ もど こうてい た
の元気な歌声が聞こえてきます。朝、正門や西門から校舎に戻ってくるときに校庭に立
つと、それぞれの教室から歌声が響いてきて、元気をもらっています。歌声が素敵な
さこんやましよう こ おも
左近山小の子どもたちっていいなと思っています。



なつ くもとけん はっせい さいだいしんど じしん ちばけん はっせい ごうう ひさい かくち
さて、この夏は、熊本県で発生した最大震度7の地震や、千葉県などで発生した豪雨による被災など、各地
おお さいがい はっせい がっこう さいがい そうてい こ あんぜん さいゆうせん
で大きな災害が発生しました。学校では、さまざまな災害を想定し、子どもたちの安全を最優先にしてい
じゅうようせい あらた かんが
く重要性を改めて考えさせられました。

じしん たいおう せんげつ じしん はっせい そうてい ひなんくんれん おこな くんれん じしん はっせいご
地震への対応については、先月地震発生を想定した避難訓練を行いました。訓練では、地震発生後に
こうてい ひなん きょうしゅく ためもの あんぜん かくにん のち こ きょうしゅつ もど なが じっし がっこう
校庭へ避難し、教職員が建物の安全を確認した後、子どもたちが教室に戻るという流れで実施しました。学校
こうしゃ おお じしん た こうぞう こうしゃ そんなしょう こ きょうしゅつ もど
の校舎は大きな地震にも耐えられる構造となっており、校舎が損傷していなければ、子どもたちは教室へ戻る
ことが可能という想定です。しかし、実際の災害では、建物の安全が確認できたとしても余震や周辺の状況
などによって教室へ戻る事が適切でない場合も考えられます。熊本県での被災状況を考えると、一度避難
を完了した後は、教室に荷物を取りに戻ることもなく、校庭やプレイグラウンドに避難した状態で、保護者の皆さ
まへの引き渡しを行うなど、その時々状況に応じて判断をする必要があると考えます。これまでの危機
かんり ひ わた おこな とときき じょうきょう おう はんだん ひつよう かんが きき
管理マニュアルや避難訓練についても「子どもたちの安全を最優先にする」という視点から、より実効性のあ
たいおう くんれん かんが じっせん おも
る対応や訓練を考え、実践していきたいと思っています。

また、大雨についても「これまで経験したことのないような雨」という表現をニュースなどで聞く機会が増え
ました。短時間に大量の雨が降り、一気に水が溢れる映像を見ると、これまで想定していた以上に短い時間
で災害が起こる可能性を考えさせられます。予報を見ると、いつ、どこで線状降水帯や豪雨が発生するのかわ
予測することが難しいようにも思います。子どもたちの安全を最優先に、結果として災害が出るほどの雨では
なかったとしても、あらかじめ行事の変更や臨時休校の判断をしたり、学校にいる間に発生した場合には子ども
たちだけで帰すことを留め置き、保護者の皆さまにお迎えをお願いしたりすることもあるかもしれません。

保護者の皆さまには、今年度すでに2回臨時休校になり、その都度ご対応いただいたことに感謝申し上げます。
す。これからは、「これまで経験したことのないような」状況が起こる可能性も想定しながら、さまざまな対応を
かんが ひつよう あきさめ たいふう じしん おも
考えていく必要があります。これから秋雨や台風シーズンにもなります。また、地震もいつどこで起こるかわ
かりません。地震などが起きても落ち着いて自分の身を守ることができるよう、子どもたち一人一人の適切な行動
を日々から学ぶことも大切になってきます。ご理解とご協力を得ながら、保護者の皆さまと、これまで以上に
こ あんぜん さいゆうせん れんけい おも ねが
子どもたちの安全を最優先にした連携をとらせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

